



社会福祉法人金亀会
障がい者支援施設

スマイル

〒790-0047 愛媛県松山市余戸南6丁目5番3号

TEL (089) 965-0294 FAX (089) 965-0330

メールアドレス smilekun@blue.ocn.ne.jp

ホームページ <http://smile-power.jp>

笑顔の 11月号 おすそわけ



★ 通所 外出行事 ★  「エミフル MASAKI」 de ショッピング



9月2日(火)～22日(月)まで、通所では久しぶりに「エミフル」へ外出しました。皆でお買い物！雑貨や食べ物など、種類豊富な商品の中から「とれにしよう」と吟味(ω・ω)！素敵なお買い物できて皆さんニコニコ笑顔で大満足でした。

9月入所外出

「エミフル MASAKI」に行きました(ω・ω)／久しぶりの「エミフル」でテンションMAX！皆さん笑顔で買い物を楽しみました(・̀・)v



松山学院高等学校 福祉科2年実習【8月18日～29日】感想文

今回初めて、障害者支援施設で実習をさせて頂きました。身体障害者の方と関わらせて頂くのも初めてだったので、とても緊張していました。けれど、そんな中で職員さんの優しい指示や声掛け、利用者様の好きなことや特徴などを教えて頂いて、利用者様からも話しかけて下さったり、ゲームを一緒にさせて頂くにつれて、緊張感が少しずつ和らいでいきました。

送迎も一緒にさせて頂いたのですが、「送迎では利用者様のご家族とも挨拶、コミュニケーションを交わすことで信頼関係が築かれ、安心感を持って利用してもらえる」ということを教えて頂きました。

介助の面では、食事、排泄、入浴等を手伝わせて頂きました。それぞれの介助の際、様々な工夫が施されており、利用者様が安心して楽しく快適に過ごすことが出来るように試行錯誤して今の環境になったことがよくわかりました。

様々な利用者様と関わらせて頂き、各々特徴や個性があり、改めて私達健常者と何ら変わらない同じ人間で、世界で一人、その人の変わらないうちで居ない大切な存在だと再確認することが出来ました。

実習は、今後の人生に活かすことのできる内容が多くありました。将来の糧となる情報を教えて下さりありがとうございました。



兵頭 明奈

実習では、障害の状態に応じて個別ケアを行うこと、また利用者の安全面や尊厳に配慮して接していることを学びました。

個別ケアでは、できないで終わらすのではなく、できる限りの希望に沿えるようにすることや、障害の状態に応じて食事の形態や入浴方法を変えていることが分かりました。

実際に利用者様とのコミュニケーションを通して、発語が難しい方は表情やしぐさなどの非言語コミュニケーションで会話をすることが大切だと実感しました。利用者様に安心感を与えるために声掛けを行いながらの介助、また利用者様に楽しんでもらうためのレクリエーションでも声掛けをすることは大切だと思いました。

介助をする上では、環境の整備や排泄や水分確認など、健康状態に配慮するなど様々な工夫を行っていました。またエアマットなどの福祉用具の使い方なども教えて頂きました。食事介助では、嚥下機能が低下している人には、お茶にとろみ粉を入れたり、ソフト食にして誤嚥しないような工夫がされていました。入浴介助では、一般浴やチェアー浴など、入浴方法も工夫されていました。

今まで知らなかった知識などを得ることができました。新たに学んだことや経験させていただいたことを今後の実習に生かしたいなと思いました。



小椋 悠

今回、一週間という短い期間でしたが、将来の自分に役立つ体験ができたと思います。

入浴介助や排泄介助、食事介助を体験させていただきました。職員さんから、色々なアドバイスをもらい適切な介助ができ、自分の知識も広がりました。

またお昼からは、利用者様に楽しんでもらえるような活動をしていて、色々なレクリエーションをして過ごされていました。

毎日同じ方が利用しているわけではないので、最初は、利用者様の方々とどのように接したら良いのかわからなかったけど、利用者様たちや職員さんに優しく接してもらったことで、沢山の対応やお話ができるようになりました。

これらの体験を終えて今思うことは、介護というお仕事は大変だけど、やりがいのあるお仕事だと分かり、これから介護というお仕事についてもっと知りたと思いました。将来はスマイルの職員さんのように、利用者様に楽しんでもらい、

利用者様の安心・安全を守るような介護福祉士になりたいです。



山内 司

令和7年度第49回中・四国身体障害者施設職員研修大会 大会テーマ「念ずれば花ひらく～あなたの声や行動が周りを変えられる～」

中・四国身体障害者施設職員研修大会に2日間参加し、管理栄養士や調理師等の食事関連の職種の方と情報交換をすることができました。

分科会での職種別の事例発表では、摂食嚥下委員会の取り組みについて詳しく知ることができ、利用者自身が望む安心、安全な環境を利用者、多職種とともに作っていくことの大切さを学びました。事例では摂食嚥下委員会を立ち上げ、外部のST（言語聴覚士）も介入し評価を行っていました。障害のある方には、昔からの慣れた姿勢があり、飲み込みしやすいように独自に筋肉が発達しているということもあるそうです。一般的に正しいとされる姿勢に無理やりはめ込む必要はないのでは、というSTの見解もあり、食事形態の他、食事時のポジショニングについても利用者ごとにチェックリストを作成し確認されていました。利用者一人ひとりにあった食事環境を整えることで、誤嚥性肺炎による退所者が激減し、摂食嚥下委員会の対象となる利用者も減少したそうです。

スマイルでも摂食嚥下障害の方がおり、嚥下調整食の提供もしていますが、利用者の摂食・嚥下について正しい評価や訓練などができるように専門職の介入の必要性も感じました。利用者の方々が安全、安心で美味しく食事が召し上がることができるよう、今回の研修を生かしていきたいと思っています。



管理栄養士 田村 恵理

この研修に参加させて頂き、ご利用者様ひとりひとりの声を大切にすることが改めて大切だと学びました。これまでも、ひとりひとりの声を一番に考えてきたわけではありませんが、ご利用者様の自己決定を大切にしているかを自分自身に問う良い機会となりました。

思い直してみると、介助をさせて頂いている中で、ご利用者様が自己決定をする前に、こうだろうと予測してしまい介助を行ってしまう時がありました。介助や施設での活動に対して自分の考えで動いてしまうのではなく、まず第一に、ご利用者様に尋ね、自己決定をして頂き、それに添った介助をしていくことが大切であり、お互いの信頼関係にも繋がってくるのだと感じました。誰かを想い誰かに想われる事による日々の幸せの積み重ねが総合自己実現へと繋がるのだと学び、その事に深く感銘しました。また、他施設との交流により、他施設で行われているご家族とのつながりを大切にする方法を知ることができました。

補助犬の講習では、補助犬マークが貼ってなくてもほとんどの施設に補助犬を連れて利用できることなど、補助犬について詳しく学びました。

今回学んだことを生かし今後の支援につなげていきたいと思っています。



通所支援員 峯山 典子

1日目は「新しい障害者支援施設の創造を通してケアコミュニティを実現するために」という基調講演を聞き、障害者の権利やプライバシーを守り、自己実現、自己決定に向けて支援していくことの大切さを改めて学びました。

分科会では他施設の外出支援、新規入所者へのアプローチの方法について学びました。外出支援では外出することで得られる喜びに焦点を当ててアプローチしており、利用者1人1人に合わせた準備や計画はとても参考になるもので、その結果として利用者の方のやりたいことができたり、心境に変化があったりと興味深かったです。

2日目は事前課題についての意見交換をグループで行いました。他施設の職員と抱えている課題についていろいろ話し合うことができ、同じような課題にぶつかっていることがわかりました。

最後の補助犬についての講演では、実際に当事者の方の話を聞くことや、補助犬の仕事を見せてもらうことで、勘違いしていたことがあることを知りました。これを機会にもっと知りたいたいと思いましたし、もっと補助犬への理解が世の中に広まればいいな、補助犬を必要としている方にもっと普及すればいいなと思いました。



入所支援員 菅野 沙紀

令和7年度 愛媛県サービス管理
責任者・児童発達支援管理
責任者 基礎研修
通所リーダー支援員 竹内 佳奈

今回の研修では主にグループワークを中心とした研修を行いました。同じグループ内には生活介護に携わっている方はおらず、違う職種の方々ばかりで、様々な意見を交換することができ大変勉強になりました。

グループワークではアセスメントシート、個別支援計画案などを模擬的に作成しました。グループで作成した個別支援計画書は支援員目線で作成してしまい専門用語を取り入れ、長い文章で情報をたくさん入れてしまいましたが、利用者様やご家族様が目にしたときに分かりやすい計画書でならないといけないと指導していただき、利用者様の為の個別支援計画書ではなければならないと気づくことができました。利用者様やご家族様によっては詳しく記入してあるほうが分かりやすいという方もいらっしゃるので、一人一人に合わせた個別支援計画書を作成することを大事にしていきたいです。

今回の研修で学んだことを今後の業務に活かしていけるように日々精進していきたいと思います。



令和7年度「福祉の職場」
中堅職員研修会
《 後輩職員の早期成長を促進
する指導育成力向上講座 》
通所支援員 竹本 悠真

ティーチングとコーチングの違いについては、ティーチングとコーチングの違いのほかにティーチングの意識ポイントについての内容だった。ティーチングは知識を与えることにに対してコーチングは相手の知識を引き出すといった意味合いだった。ティーチングについて、指示を出す際に略語などを使わず共通言語を使用し、多分や、どちらでもいい等聞き手が不安になる指示出しに注意し、教えられる側になりきって考えることが大切ということに納得し今後に活かしていきたいと思った。

前向きな行動を促す「伝える・教えるスキル」については、伝えるスキルや教え方の流れとフィードバックを行った。伝え方の意識ポイントとしてEQ(Emotional Quotient)心の知能指数、感情能力が大切とのことだった。他にも肯定表現と否定表現があり、どちらがいい悪いではなくその時のシチュエーションによって使い分ける必要がある。この部分で、伝える際は肯定的なことを言え方がいいと思っていたが、絶対に守ってもらいたい時などのシチュエーションでは否定的な表現を使用することが大切というところが興味く感じた。

今回の研修で、グループワーク等を交え他のメンバーとも意見交換をすることが出来た。当たり前のように使っている言葉や自然にでる非言語の部分等今後の仕事でも気を付けていきたいところが沢山あり、実りのある研修だった。

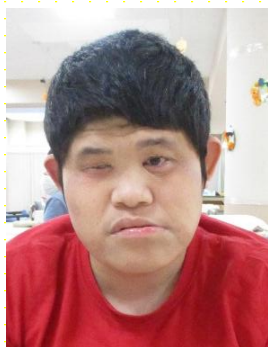


災害看護専門看護師から学ぶ
BCP策定・見直しのポイント
(令和7年度愛媛県委託介護施設等における防災リーダー養成等支援事業)
通所看護師 藤本 理絵

今回、寺田氏の講義を聴かせていただき、災害時対応だけに目を向けるのではなく、災害後の復興も念頭に置いて行動していくことの重要性を知ることができました。看護師として災害関連死を如何に縮小させ、営業継続し少しでも社会貢献・復興を進められるか、私に出来ることは何かを考えていきたいと感じました。

また、さまざまな災害がありますが基本の初動対応は同様であり、まず一番に災害発生時に職員一人一人の安全を確保し、次にご利用者の安全確保に向けて行動していき、少しずつ視野を広げてサービスの継続・地域への貢献に発展させていかなければならないと痛感しました。

今後の課題としてBCPだけでは職員は動けないと寺田氏の講義の中でもありましたので、災害マニュアルや優先業務や手順書の有無の確認をし、なければ準備をしなければいけないのではないかと。今後、段階を踏んだ訓練を繰り返し実施し評価・見直しを繰り返すことで、災害対応に対しての職員の不安の軽減や少しでもひとりひとりの自信に繋がればと思います。



氏川 恭輔さん



久保 貴裕さん



清家 美幸さん



武安 拓実さん



金井 彪流さん



9月職員研修会

「排せつケアのあり方」



講師 なちゅは愛媛

おむつフITTER 久保啓子氏

今回の研修では排せつケアについて学び、介護をするうえでとても大切な知識を身につけることができました。座学では失禁にもいろいろな種類があり、病気や障害によって違いや特徴があることを知りました。実技では、職員同士で実際におむつを着けあってみて、悪い例・良い例で着け心地や可動域の変化の違いに驚きました。実際に体験することで利用者様の気持ちを知ることができ、いつも陰部や股関節を気にされる方に対して、だから気になっていたのか、と理解することができました。今回の研修で、施設全体でおむつに対する考え方を見直すことができたことは大きな収穫で、入所者様に関しては、使用のおむつを再検討するために動き始めています。学んだことを日々の支援で活かし、実践していきたいと思います。

入所支援員 樋渡賢太郎

入所

BBQ

10/9(木)夕食

今年も BBQ の季節が

やってきました！今年はお天気も良く、外で食べる方もいました。牛カルビ、豚バラ肉は「家族の会」から提供していただきました。皆さん、思う存分召し上がったようです。炭火で焼くお肉は美味しかったですね。(*^_^*)



11月の行事予定

4(火)・10(月)・11(火) 入所：外出「買い物(ジョープラ・エミフルMASAKI)」

4(火)・21(金)・27(木) 行事食「麺&寿司ランチ」 10(月) 祝い膳

11(火)・12(水) 通所：外出「道後商店街(山澤商店展示見学)」

19(水)「お琴演奏会」 25(火)「オアシス会」

散髪・ヘアカット(理容師・美容師の来所)は中止します。

スタッフ
募集中

お気軽に
お問い合わせください。
TEL
(089) 965-0294
担当：藤原 岳

支援スタッフ(施設内介護)
運転手(利用者送迎)
登録ヘルパー(訪問介護)



～ご意見・ご要望受付に関するお知らせ～

利用者及びご家族の皆様からの施設に対する
ご意見・ご要望を受け付けております。
今月より、お電話にて受付いたします。

担当者は (サービス管理責任者)：福宮 沙也子

(本部員)：藤原 岳 です。

担当者まで、どうぞお気軽にご連絡ください。